

N-アセチルオルニチンカルバモイルトランスフェラーゼ

Cat. No. EXWM-2021

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 EC 2.1.3.3、オルニチンカルバモイルトランスフェラーゼとは異なります。この酵素は、いくつかの真細菌の標準的なアルギニン生成経路においてEC 2.1.3.3を置き換え、L-オルニチンを基質として触媒活性を持ちません。

別名 アセチルオルニチン転炭酸化酵素; N-アセチルオルニチン転炭酸化酵素; AOTC; カルバモイルリン酸:2-N-アセチル-L-オルニチンカルバモイル転移酵素; AOTCase

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.1.3.9

CAS登録番号 890853-54-0

反応 カルバモイルリン酸 + N2-アセチル-L-オルニチン = リン酸 + N-アセチル-L-シトルリン

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。